

実施計画事業名		私立保育所運営支援事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		教育部 こども課		課長(主幹)名	渡邊 祐子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します					
	施策	3	総合的な子育て支援体制の整備を促進します					
	関連施策							
現状と課題	児童福祉法に基づき、保育に係る最低基準を維持するための費用である運営費を私立幼稚園に対し支弁する事業である。現在4カ所の私立保育所が開設し、父母の就労形態の変化等に対応するため一時保育・延長保育等を実施しており、待機児童もほとんどない状態である。市立保育所は、従来3施設を運営してきた(民間保育所は0箇所)が、こどもの数が大きく減少する中、民間幼稚園への併設を進めながら、サービスの向上を図ってきた。現在、市立保育所は2施設、私立保育所4ヶ所であり、父母の就労形態の変化等に対応するため一時保育・延長保育を実施しており、待機児童もほとんどない状況である。							
目的	父母が子育てをしながら仕事を続けられ、また乳幼児が健やかに育つこと							
施策展開の	市立保育所と併せて、待機児童が生じないよう運営を行っていく。 多様な就労状況に対応した保育の実施について検討する。 (病児・病後児保育、子育て短期支援事業、特定保育事業、休日保育事業等)							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	市内保育所の定員総数 (うち私立保育所)		人	目標	410(210)	410(200)	410(200)	
説明	市内保育所(市立保育所、私立保育所)の定員の合計数。※()内は、うち私立保育所の合計定員数 ※各年4月1日			実績	410(210)	410(210)		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	市内保育所の入所者数(うち私立保育所)		人	目標	370(190)	370(190)	370(190)	
	説明	市内保育所の入所者数(うち私立保育所) (毎年4月1日)			実績	356(226)	389(247)	
	延長保育利用延べ時間数		時間	目標	2,800(1,800)	2,800(1,800)	2,800(1,800)	
	説明	市内保育所の延長保育が利用された年間延べ時間数(うち私立保育所)			実績	2,665(1,738)	3,443(2,806)	
	一時保育利用回数(うち私立保育所)		回	目標	500(450)	500(450)	500(450)	
	説明	市内保育所の一時保育の回数(うち私立保育所)			実績	465(453)	597(515)	
事業費の実績			単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	280,279	286,709	273,601		
	国庫支出金		千円	88,767	89,525	99,353		
	道支出金		千円	44,383	56,833	42,242		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	56,283	62,803	56,894		
	一般財源		千円	90,846	77,548	75,112		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.30	0.60	0.60		
	人件費(B)		千円	2,037	4,172	4,172		
計(A+B)		千円	282,316	290,881	277,773			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 法令による私立保育所運営費の負担義務であり、安定的で質の高い保育サービスの確保、待機児童の解消のために有効な事業である。 延長保育、一時保育等特別保育事業の実施により、子育てと就労の両立支援を行う。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--